



平成24年度
臨時10月号
広島市立牛田中学校
(電話：221-9073)

平成24年度「基礎・基本」定着状況調査結果の概要

6月13日(火)に広島県全中学2年を対象に「基礎・基本」定着状況調査(国語・数学・英語)を実施しました。その調査結果の概要と考察に基づく今後の指導についてお知らせします。調査結果を踏まえ、今後の指導をより充実させていきたいと思えます。

● 国語科

通過率	広島県	広島市	牛田中
国語平均	81.0	78.5	88.3
聞くこと	82.8	81.6	84.6
書くこと	81.0	75.9	92.7
読むこと	78.9	77.7	83.1
言語事項	82.4	79.5	91.3

☆ 領域ごとの結果では、「聞くこと」(84.6%)、「書くこと」(92.7%)、「読むこと」(83.1%)、言語事項(91.3%)のいずれも県の平均通過率を上回っています。特に、「書くこと」と「言語事項」の通過率は9割を超え、力が身に付いていると言えます。

☆ 「読むこと」の領域においては「段落相互の関係の把握」の通過率が、また「言語事項」の領域においては「事象や行為などを表す多様な語句」の通過率が、他の問題に比べ極端に低くなっています。これから文章を読む場合、段落相互の関係や構成に着目した文章理解、多様な表現に触れ、語彙を豊かにすることを重点に指導していきます。

☆ 「学習に関する調査」においては、「国語の授業はよく分かります。」や「国語の授業で学んだことが、他の教科や生活の中で、読んだり書いたり、話したり聞いたりすることの役に立ちます。」などほとんどの項目に肯定的な回答をした生徒が多く、日頃から意欲的に学習している様子が伺えます。今後も生徒が自ら学ぼうとする意欲を高め、さらに力を付けることができるよう授業の工夫・改善に取り組んでいきます。

● 数学科

通過率	広島県	広島市	牛田中
数学平均	74.1	71.9	77.1
数と式	75.5	73.9	80.6
図形	74.9	72.1	77.4
関数	72.6	70.3	76.0
資料の活用	64.9	60.4	54.4

☆ 領域ごとの結果では、「数と式」の領域では5.1ポイント、「図形」の領域では2.5ポイント、「関数」の領域では3.4ポイントと、県の平均通過率を上回っているが、「資料の活用」領域では10.5ポイント下回っています。「資料の活用」の領域は1年の終わりに単元テストを行わなかったことが原因で学習が定着していないことが考えられるので、ただちに復習をし単元テストを実施しました。その他の3領域は、基礎的・基本的な学習内容は概ね定着しているといえます。

- ☆ 「数と式」の領域では、14設問中2つの設問（「四則の計算」「分数の除法」）で県の平均通過率を下回っています。間違いやすい計算の復習を継続して行っていきます。
- ☆ 「図形」の領域では、7設問中1つの設問（「角すいの体積」）で県の平均通過率を下回っています。教具の工夫、観察などの活動を通して、図形の性質を実感させるように指導していきます。
- ☆ 「関数」の領域では、4設問中1つの設問（「グラフの考察」）で県の平均通過率を下回っています。文章題の読み取りを苦手としている生徒が多いので、しっかりと文章を理解しグラフを考察する指導に力を入れていきます。
- ☆ 「資料の活用」の領域では、2設問とも県の平均通過率を下回っていたので、復習をし単元テストを行ったところ、今回出題された「度数分布表の理解」「相対度数の意味」ともに正答率が上がりました。この領域は統計的な分野なため、日常生活に活用しやすい領域です。身の回りの事象を用いて、興味が持てるように指導していきます。
- ☆ 「学習に関する調査」においては、13設問全てにおいて肯定的な回答をした生徒の割合が県平均を上回りました。中でも、「数学の授業はよく分かります。」「少ない人数で学習する方がよく分かります。」「自分の力に合った内容や方法、学習の進みぐあいなどを選んで学習する方がよく分かります。」に対する肯定的な回答をした生徒の割合は、8割を超えており、本校での少人数による習熟度別指導の定着が伺えます。

●英語科

通過率	広島県	広島市	牛田中
英語平均	74.2	72.2	80.7
聞くこと	76.0	76.2	83.6
読むこと	72.1	70.6	79.1
書くこと	66.8	60.8	75.5
話すこと	85.0	84.6	85.7

- ☆ 領域ごとの結果では、どの領域においても県の平均通過率を上回っており、全領域とも基礎的・基本的な学習内容は定着していると言えます。
- ☆ 「聞くこと」の領域は、「英語での問いかけに対する適切な応答」「会話の内容の理解と質問への適切な応答」「概要や要点の把握」をする力が、定着していると言えます。
- ☆ 「読むこと」の領域においては、「適切な語を用いて会話を組み立てる」問題の中で、Ken and Mikeなど複数の人間が主語の場合、主語に応じて適切な語を用いる力の定着が、45%と低い状況です。授業の中で、様々な主語を用いた例文をより多く扱い、慣れ親しませることを通して、応答するだけでなく質問を作ることができる力まで高められるよう指導していきます。
- ☆ 「書くこと」の領域は、他の領域と比べて通過率の低い領域です。授業の中で、より分かりやすい作文指導に努めます。
- ☆ 「話すこと」の領域においては、コミュニケーションへの積極性を図る設問の通過率が98.9%であり、「間違いを恐れずに自分の考えを話すなど、積極的にコミュニケーションを図ろうとする」態度がほぼ育っていると言えます。今後も、毎日の授業の中で、具体的な場面設定をし、その場に応じた適切な応対ができるよう継続的に指導していきます。
- ☆ 「学習に関する調査」においては、「英語の授業はよく分かります。」や「英語の授業では、英語で文章を書くときは、自分の考えや気持ちが読み手に正しく伝わるように書いています。」などほとんどの項目に肯定的な回答をした生徒が多く、日頃から意欲的に学習している様子が伺えます。また、「少ない人数で学習する方がよく分かります」「自分の力に合った内容や方法を選んで学習する方がよく分かります」に対する肯定的な回答をした生徒が多く、本校での少人数による習熟度別指導の定着が伺えます。今後とも、きめ細やかな指導に努めていきます。